

マウスとキーボードの使い方

・マウスの使い方

拡大（ズームイン）	マウス中ボタン（ホイールボタン）をアップ方向に回転します。
縮小（ズームアウト）	マウス中ボタン（ホイールボタン）をダウン方向に回転します。
移動（スクロールスクリーン）	マウス中ボタン（もしくはホイールボタン）を押したまま移動（ドラッグ）

・単一オブジェクトの選択：

選択したいオブジェクトをマウス左ボタンでクリックすることで、選択することができます。選択はオブジェクトの種類に依存して、赤、もしくは青で表示されます。赤は“親”として選択されたことを示します。“親”は他のオブジェクトと結ぶつくかもしれないオブジェクトです。

・複数のオブジェクトの選択：

選択したいオブジェクトをシフトキーを押しながらマウス左ボタンでクリックすると、複数のオブジェクトを選択することができます。このとき選択されたオブジェクトは青色で表示されます。前に選択されたオブジェクトは影響しません。（選択が解除されることはありません。）

・オブジェクトの選択解除：

選択されたオブジェクトをコントロールキーを押しながらマウス左ボタンでクリックすることによってオブジェクトを解除することができます。

・オブジェクトの編集：

編集したいオブジェクトをマウス左ボタンでダブルクリックすることにより編集を行うことができます。

・右マウスボタンによるポップアップメニューの呼び出し：

右マウスボタンを押すことにより、ポップアップメニューを開くことができます。この時、どこでポップアップメニューを呼び出したかにより表示されて項目が違います。もしオブジェクトの上

でポップアップメニューを呼び出すと、大きなポップアップメニューが現れます。(下左画像) オブジェクトから離れたところでポップアップメニューを呼び出すと小さなポップアップメニューが現れます。(下中画像)

さらに3D表示(アイソメSW、アイソメSE、軸投影法)の状態ではオブジェクトから離れたところでポップアップメニューを呼び出すと下右画像のような表示切替用のポップアップメニューが表示されます。

つまり、状態が変わることにより表示されるポップアップメニューの内容が変化するので、注意が必要です。



・キーボードの使い方

次はキーボードの使い方です。次のキーを押すことによって、選択されたオブジェクトは影響を受けます。

Enter キー	編集できます。(複数オブジェクトが選択されていればエラーになります)
Delete キー	削除できます。(複数オブジェクトが選択されていれば、リスト表示され、目的のオブジェクトを選択して削除できます。)

・始点(スタートポイント)と終点(エンドポイント)

マウス右クリックによりポップアップメニューから始点(スタートポイント)を選択すると選択することによって始点を設定することができます。この時始点は小さな塗りつぶされた赤い点で表示されます。全く同様にして、ポップアップメニューより終点(エンドポイント)を設定すること

ができ、終点が設定されると小さな塗りつぶされた黄色い点で表示されます。この始点と終点は早くて正確なウィンドウによる対話入力には有用です。たとえば、あなたが2つの任意の位置で始点と終点を決めて、それから、描画一線を選択するとウィンドウによる入力を開始すると From X,Y と To X,Y の値には始点と終点の座標値で入力された状態が表示されます。

